

令和3年度社会福祉法人神和会事業計画

1. 事業の概要

昨年は新型コロナウイルス感染症への対策から一時的にサービス提供を一部制限したことにより稼働が低下し、経営の不安定さを招いた。感染症の影響は今後もしばらく続くため、引き続き感染対策を継続し、かつ安定して運営することが求められる。

事業の運営に当たり、以下の通り持続的な経営の安定化を図る。

(1) 収入の安定化

主たる事業である特養の稼働を安定させ、居宅系サービスの稼働向上を図る。

居宅系サービスについては、居宅介護支援事業を含む検討会を毎月実施している(継続)。

また、本年度は報酬改定が実施されるため新たな加算取得への対応のための体制づくりをする。

(2) 安全対策

施設内感染が発生しても大きな被害を出さないようにして、サービスを継続できるようにするための準備・検討をする。

また、自然災害の発生時についても同様に事業継続のための準備・点検をする。

2. 具体的な事業

(1) 地域福祉活動

介護保険サービスに加え、介護保険事業外の事業として障がい者福祉サービスを提供する。また、低額で利用できるサービスとして大野の郷・和の家とも公費による負担減免制度の適用施設となっている。社会福祉法人としてこれらの事業を継続し、地域に貢献する。

3. 理事会等の日程

令和3年度の理事会等を定款第12条及び19条により次の通り計画する。

開催月	議題等	備考
6月理事会	1号報告令和2年度事業報告及び決算報告 2. 評議員の推薦	監事からの監査報告
6月評議員会	1号報告 令和2年度事業報告及び決算報告 2号議案 理事及び監事の選任	
6月臨時理事会	1. 代表理事の選任	

11月理事会	1号議案 令和3年度補正予算 2号報告 大野の郷・和の家運営中間報告	監事からの監査報告
11月評議員会	1号議案 令和3年度補正予算	
3月理事会	1号議案 令和3年度補正予算 2号議案 令和4年度事業計画及び予算	監事同席
3月評議員会	1号議案 令和3年度補正予算 2号議案 令和4年度事業計画及び予算	

その他に理事長が必要とした時、あるいは、定款第13条第2項の規定に基づき開催請求があった時には臨時会を開催する。

令和3年度特別養護老人ホーム大野の郷(短期入所事業含む)地域密着型特別養護老人ホーム和の家事業計画(案)

1. 事業の概要

介護報酬の改定に即した事業を計画する。

昨年は福祉機器の導入、働きやすい職場づくり、家族との関わりを中心に事業計画を立てた。引き続きこれらの課題に取り組むことと、本年度は介護報酬の改定があるので、改定の内容に合わせて事業を計画する。

まず、感染対策と防災対策の見直しを行う。昨年は新型コロナウイルス感染症への対策だったが、今後は予防とともに施設内感染が発生しても事業を持続する取り組みが必要になる。災害対策も同様に、被災したときに支援を受けるまで安全に運営するための準備を行う。

次に科学的ケアへの取り組みについて、今回の報酬改定で厚労省の進める介護データベースへの情報提供を行うための準備をする。

2. 事業内容

(1) 入居者・利用者の生活を支える

①科学的ケアへの取り組み

厚生労働省の推奨する介護データベース(LIFE)へのデータ蓄積に協力するための準備を進める。データ提供によって介護報酬上の加算を得られることや蓄積されたデータベースを参照することでケアの質の向上につなげたい。

②ユニットケアの充実

科学的ケアの導入にはケアプランとの連動が不可欠なため 24 シートとケアプランの連動に引き続き取り組む。

介護データベースの活用によりケアの効果を視覚化されれば、改善が実感できるようになり、職員がケアに取り組む動機づけになる。

③感染・災害対策

感染対策として、新型コロナウイルス感染症の施設内感染が出た場合に備え消耗品の備蓄、シミュレーションの実施など既に実施しているが、継続して感染対策委員会を中心として、施設内感染発生に備える。

災害についても同様に、風水害、地震によってライフラインが使えなくなった場合に備えた対策を見直す。

④虐待防止

開設時から身体拘束をはじめとした虐待防止に取り組んでいる。身体拘束委員会の設置、研修の実施、担当者選任等既に整備済みだが、制度に改正に合わせて見直しをする。

⑤福祉用具の導入・活用

福祉機器を昨年導入・運用しているが、引き続き拡充を計画する。立位保持のための機器の購入を検討している。

⑥理念の実践

理念である「やすらぎ」「癒し」を達成する為には、日常の生活において「安心・安全」を保障しなければならない。入居者は様々な疾患があり、また日や時間によって状態が変化する。入居者個々を知り、状態把握に努める事で、その時々合わせたケアを行い、事故等を未然に防げるよう整備する。安全なケアの方法やアセスメントは各委員会が分担して行う。

(2) 職員の育成

①研修

引き続き外部配信サービスを利用した外部研修を実施する。感染症対策のため外部の研修はオンラインが主だが、状況・内容により派遣することも検討する。

今まで事業方針としては、基礎研修を中心に実施してきたが本年度はリーダークラスを中心とした熟練者研修も実施する。形態は内部研修を基本とするが、外部の研修受講も検討する。

また、介護職以外の職種・在宅系サービス向けの研修も実施したい。

②働きやすい職場づくり

過重労働の軽減、職員が安心して働ける仕組みづくりを通じて働きやすい職場環境を作る。

過重労働の軽減としては、福祉機器の拡充を継続する。補助金等を利用して福祉機器を購入する。前回は入浴用のリフトを導入したが、立位保持するための機器を導入する。

職員が安心して働くことができるための取組として、①相談窓口の設置②パワーハラスメントやセクシュアルハラスメントなどの防止に取り組む。

③人事考課

今年度も引き続き、職員のモチベーションアップや自己課題の発見から目標の明確化へ繋げる。

(3) 家族交流と地域活動への参加

①家族との交流

新型コロナウイルス感染症の影響により家族との直接交流できない状態が続いているため、パソコン等でのオンライン面会を実施するほか画像・動画の配信等で定期的に家族へ状態を報告している。引き続き継続する。

②地域行事への参加、施設行事の開放

感染症対策の影響下で地域活動も縮小されているが、地域行事への参加は可能な限り実施する。

令和3年度デイサービス事業計画

1. 事業の概要

事業内容は前年度事業計画を継続して行う。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響があり、一時的に新規受け入れを抑制した結果稼働率の低下を招いた。本年度は十分に感染対策して事業を継続する。当地域は感染症流行地域に住む家族が往来して独居や高齢者のみ世帯を支えているケースが多いため、利用を抑制するだけでは利用者を支援することはできない。感染対策に配慮しつつ、サービスを継続する。

感染対策の他、施設サービスと同様、災害対策、虐待防止、科学的ケアについて各サービスとも共通の課題に取り組む。

利用者を増やす取り組みを継続して行っているが、まだまだ満足のいく稼働率とはなっていない。対策として新規利用者を継続して受け入れることにより利用者を増やすことと、定着できなかったケースの検討を継続して行っている。

2. 事業内容

(1) 行きたくなる施設になる

デイサービスは援護の必要になった高齢者の多くが最初に利用する施設サービスのひとつである。しかしデイサービスに自ら行きたいという高齢者は多くはない。施設は居心地の良い場所で、また行きたいと思ってもらえる場所になるためにこれまでのサービスを継続する。

稼働率の改善策としては、新規利用者の受け入れ・定着を図るための取組として利用終了したケースについて振り返り、利用継続してもらうためのニーズを分析している。

(2) 職員の育成

施設事業計画に準じた内容とする。研修の充実（リーダークラスのための研修）、働きやすい職場環境にするための取組（相談窓口の設置、ハラスメントの防止）を行う。研修については居宅系サービスに特化した内容も検討する。

令和3年度障がい福祉サービス事業計画

1. 事業の概要

空床を利用しての障がい者受け入れのため、サービス希望者はほぼ固定されてきている。今後も障がい者施策に準じ、地域の福祉施設として成長するためにも、障がい者の人権擁護と、安心して地域で暮らせることについて関わりを持ち微力ながら地域福祉文化の基盤づくりに貢献していきたい。

2. 利用対象者

18歳以上の身体障がい者

3. 運営方針

- ①利用者の自立の促進、生活の質の向上等を図るため、その障害の状況に応じた生活訓練、創作的活動及び機能訓練等を通じ社会生活へ適応ができるよう支援する。
- ②地域の保健・医療・福祉サービスとの密接な連携を図り、総合的なサービス提供に努める。

4. 事業内容等

特別養護老人ホーム大野の郷「短期入所」及び「デイサービス」事業に準ずる。

令和3年度居宅介護支援事業所大野の郷事業計画

1. 事業の概要及び目的

在宅での生活の継続を可能な限り持続できるよう利用者のみならず家族の心身の状況、環境に応じ、選択に基づく利用者本位のサービス提供体制を構築できるよう努める。

(1) 新規契約者の確保

新規契約者の確保として近隣の病院（医療連携室等）・地域包括支援センターや地域の社会資源を活用する事によりネットワークの構築、新規契約者の確保（稼働率の維持）が出来るように活動する。

(2) 緊急時の対応

緊急の依頼があった場合も迅速に対応できるよう努める。

(3) 研修の参加

常に最新の情報を取得するため公的な研修に積極的に参加する。研修内容については、法人内で情報の共有化を図る。

(4) 鹿嶋市認定調査の協力

今年度も自治体の認定調査の業務委託契約を継続し、依頼に応じて介護保険における認定調査を実施する。

令和3年度 年間行事		・研修等は別紙参照					
	事務局	法人全体行事	大野の郷		和の家		備考
			特養・ショート部門	デイ部門	地域密着型特養部門	小規模多機能部門	
4月			・お花見（敷地内）	・お花見	・お花見（敷地内） ・イチゴ狩りレク（室内）		※各月の誕生日イベントや外出等は各部門ごとに計画して行う
5月	・理事会・評議委員会 ・職員健康診断（介護職）	・青空喫茶			7周年記念オリエンテーリング（スタンブラリー）		
6月		・法人開所記念（バイキング） ・前期全体会	・あやめ見学	・あやめ見学	・あやめ見学		
7月				・外食レク	・流しそうめん		
8月				・夏祭り	・居酒屋（ピアガーデン）		
9月		・敬老会		・敬老会			
10月		・月見祭 ・鹿嶋まつり参加		・外出レク	・ハロウィンスイーツバイキング		
11月	・理事会・評議委員会 ・職員健康診断				・遠足（水族館）		
12月	・職員忘年会	・もちつき	・クリスマス会	・クリスマス会 ・忘年会	・クリスマス会		
1月					・カルタ大会		
2月			・節分	・節分 ・バレンタイン	・節分		
3月	理事会・評議委員会	・祭頭祭見学 ・後期全体会			・春のパン祭り		
※新型コロナウイルス感染症等の対策で、変更・中止する場合があります。							

令和3年度 施設内研修計画表（全職員対象）				
実施月	テーマ	主催・講師	所要時間	備考
4月	介護職員の医療外行為	お茶の水ケアネット配信サービス	17分	
	チームで取り組むということの意味	お茶の水ケアネット配信サービス	17分	
5月	食中毒研修	メフォス様	60分	必須（感染症対策Ⅰ）
	利用者の真の主訴を考える	お茶の水ケアネット配信サービス	18分	
6月	姿勢ケアの基本的な考え方	お茶の水ケアネット配信サービス	17分	
	自立支援とは	お茶の水ケアネット配信サービス	18分	
	全体会（身体拘束）	未定	90分	必須（身体拘束Ⅰ）
7月	立ち上がりを理解する	お茶の水ケアネット配信サービス	16分	
	認知症の3分類	お茶の水ケアネット配信サービス	17分	必須（認知症ケア）
8月	異常の早期発見のための観察の視点	お茶の水ケアネット配信サービス	18分	
	非常災害時の対応	お茶の水ケアネット配信サービス	14分	必須（災害時対応）
9月	クレーム・トラブル対応	お茶の水ケアネット配信サービス	14分	
	救命救急演習	介護主任	30分	必須（リスク）
10月	無理のない業務改善の仕組みづくり	お茶の水ケアネット配信サービス	16分	
	介護現場の衛生管理	お茶の水ケアネット配信サービス	18分	
11月	感染症対策研修	感染症対策委員会	60分	必須（感染症対策Ⅱ）
	誤飲時の対応	お茶の水ケアネット配信サービス	12分	
12月	看取りとは	お茶の水ケアネット配信サービス	16分	
	遊びリテーションとは	お茶の水ケアネット配信サービス	18分	
1月	認知症の特徴と他職種連携の必要性	お茶の水ケアネット配信サービス	16分	
	信頼関係の構築	お茶の水ケアネット配信サービス	19分	必須（接遇）
2月	高齢者の心身の特徴	お茶の水ケアネット配信サービス	15分	
	身体拘束をおこなってはいけない理由	お茶の水ケアネット配信サービス	13分	
3月	行動・心理症状（問題行動）は、なぜ起こるのか？	お茶の水ケアネット配信サービス	19分	
	不適切ケアと虐待	お茶の水ケアネット配信サービス	11分	必須（虐待防止・権利擁護）
	全体会（緊急時対応）	リスク委員会	90分	必須（リスク）
※研修内容は状況に応じて変更する場合があります。				

令和3年度 施設内研修計画表（介護リーダー対象）				
実施月	テーマ	主催・講師	所要時間	備考
4、5月	新人教育の前に知っておきたいリーダーの心構え	お茶の水ケアネット配信サービス	15分	
6、7月	リーダーの役割	お茶の水ケアネット配信サービス	15分	
8、9月	聞き上手なリーダーとなるために	お茶の水ケアネット配信サービス	18分	
10、11月	変化を嫌う職員の特性を理解する	お茶の水ケアネット配信サービス	17分	
12、1月	言い方を変えるだけで後輩（部下）が育つ	お茶の水ケアネット配信サービス	17分	
2、3月	教育の目的	お茶の水ケアネット配信サービス	18分	

※研修はリーダー会議終了後開催する。

令和3年度 外部研修計画表

※新型コロナウイルス感染症の流行状況により、研修派遣（参加）を判断する。

実施月	テーマ	対象者		
	ユニットリーダー研修（前期）（後期）	ユニットリーダー		
	リスクマネジメント研修	リスク委員		
	認知症実践者研修	勤務年数2年以上		
	クレーム対応力強化研修	リーダー・相談員		
	アンガーマネジメント研修	全職員		
	業務改善手法研修	ユニットリーダー		
	認知症の方の気持ちに寄り添う認知症ケア	全職員		
	シナプソロジーセミナー	デイ職員		
	姿勢と座位	全職員		
	介護の現場での看取り	全職員		
	リーダーが人を育てる。やる気アップ術	ユニットリーダー		
	国際福祉機器展	全職員		
	リフトリーダー養成研修	ユニットリーダー		
	鹿行地区複数事業所研修（複数回開催）	全職員		
	ユニットケアフォーラム	全職員		

令和3年度 外部研修計画表			
実施月	テーマ	内容	対象者
4月			
5月	ユニットリーダー研修（前期）	ユニットケアにおけるリーダーとして必要な知識と技術を学ぶ。	ユニットリーダー
	腰痛予防介護技術の習得	利用者の力を引き出し、介護者の身体への負担も少ない移動・移乗の技術の習得。	全職員
6月	リスクマネジメント研修Ⅰ	施設の特徴を考え事故発生メカニズムを習得し、有効な対策を考える知識と技術を学ぶ。	リスク委員
	移乗介助と体位変換	利用者・介助者ともに負担のない介助方法、身体の大いかな利用者への介助方法 他	全職員
	認知症実践者研修	認知症ケアの基本的視点と理念。認知症の人の理解と対応。生活環境作り。他	勤務年数2年以上
7月	看護職のユニットケア研修	ユニットケアにおける看護職の考えや関わりを学ぶ。	看護師
	クレーム対応力強化研修	クレームに適切に対応するための、基本的スキルの習得。	リーダー・相談員
8月	アングーマネジメント研修	怒りの感情を理解し、怒りの感情のコントロールを通し、自分を省みる手法を学ぶ。	全職員
	業務改善手法研修	サービスの質の改善に取り組む手法。職場の分析。目標達成の工夫。信頼関係。他	ユニットリーダー
9月	認知症の方の気持ちに寄り添う認知症ケア	BPSDについて。認知症の気持ちを考える。症状緩和のためのケア。他	全職員
	シナプソロジーセミナー	シナプソロジー（脳活性化エクササイズ）の効果、活用方法。他	デイ職員・小規模職員
10月	姿勢と座位	車椅子の姿勢、ベッド上の姿勢など、褥瘡や拘縮予防のポジショニングとシーティング。	全職員
	介護の現場での看取り	ターミナルケアの現状と課題。緩和ケア。関わり方。他	全職員
	リーダーが人を育てる。やる気アップ術	リーダーの為の職員の育て方。職員のモチベーションアップ術。他	ユニットリーダー
	国際福祉機器展	最新の福祉用具に触れる。	全職員
11月	リフトリーダー養成研修	リフト等を有効に活用するために必要な知識及び技術の習得。	ユニットリーダー
	鹿行地区複数事業所研修	未定	全職員
12月	鹿行地区複数事業所研修	未定	全職員
1月	ユニットリーダー研修（後期）	ユニットケアにおけるリーダーとして必要な知識と技術を学ぶ。	ユニットリーダー
	集団レク・エクササイズの質を変えよう	集団レク・リハの目的と効果。自主性・自発性を引き出すスキル。他	デイ職員
	鹿行地区複数事業所研修	未定	全職員
2月			
3月	ユニットケアフォーラム	ユニットケアにおける、排泄、食事、24Hシート、福祉用具の活用。他	全職員
※日程に関しては、前年度実績で予定を作成していますので、日程変更する場合があります。			
※その他、必要と判断した研修に関して随時参加する。			

